

第四七章 復活

聖書には一つの全体的な復活ではなく、七つにも及び復活を提示している。そのうちの幾つかは既に過去のものであるが、他のものはキリストの千年の統治の前後に起こる復活のように、長い期間を間においている。聖書はそれぞれの人々が、それぞれの時と場所で復活させられ、人間の存在は永遠に続いていくことをはっきりと教えている。

I イエス・キリストの復活

復活の順序で最初にくるのはイエス・キリストの復活であって、旧約聖書では預言として書かれ、(詩篇 16:9、10 のように)福音書には歴史的事実として示され、使徒の働き以下には神学的に扱われている。キリストの復活は I コリ 15 章に示されているように、キリスト教の信仰と希望のすべてがそれにかかっている。一つ以上の復活があると考察するに当たって、キリストの復活はすでに実際に起こった独自の出来事である、という点ですべての人が同意すべきことをまず認めるのが重要である。

II エルサレムの聖徒たちの復活

キリストの復活の際に、マタイ 27:52-53 によれば一つのしるしとなる復活も起こった。

この普遍的でない出来事に関してはどこにも何の説明もない。この人たちはキリストの死の際に墓が開かれたけれども、キリストご自身が復活されるまで、よみがえらされなかったように思われる。なぜなら、聖書はキリストを初穂としているからである。

この復活は明らかにラザロたちの復活とは違ったものである。彼らは生き返ったが、また死んで墓に葬られた。しかし、ここで復活した人達は二度と墓には戻ることはなかった。

III 教会の復活

キリストにあって死んだものたちは、携挙の際によみがえらされ、生きているクリスチャンたちとともに空中で主とお会いして天に行く。(I テサ 4:13-18) 彼らは復活のからだを与えられるはずである。教会の復活は最初にかかる大多数の復活であり、その後にかかるものの先触れなのである。

IV 旧約聖書の聖徒たちの復活

ダニエル書 12:1-2 によれば、患難時代の後、すなわち王国設立の前に旧約聖書の聖徒たちの復活があるように記されている。イザヤ 26:19-21 では、復活はキリストが世をさばくために来られる時と関連して記されている。

V 患難時代の聖徒の復活

患難時代に殉教者として死んだ人たちの復活は、キリストの王国設立のための再臨に関連してよみがえらされると特別に言及されている。(黙示 20:4-5)

VI 千年王国時代の聖徒たちの復活

聖書には、千年王国時代の聖徒たちの復活をはっきりと預言していない。しかし、イザヤ 65：20 によれば、千年王国時代に死ぬ人たちがいるということが示唆されている。

聖書のはっきりとした裏付けはないにしても、このような箇所から千年王国時代の聖徒たちが復活させられることは推測される。

VII 悪い者たちの復活

最後の復活は明らかに、悪い者たちだけに関係のある復活である。黙示 20：11－15 によれば、大きな白い御座のさばきに関連して、それまでによみがえらされなかったすべての死者が復活させられて、さばきのために神の御前に立つ。これは新天新地の創造の前の最後の復活である。

このように、復活はすべての人に起こる。信者にとっては希望であり、輝かしい復活であるが、不信者にとっては、破滅への恐ろしい出来事である。私たちの宣教への熱心はこのような絶望への復活の中から一人でも救われてほしいという願いから沸き上がってくるものである。(ユダ 22－23)